

静岡市紺屋町地下街への地下水熱交換システム設置

- 平成30年12月19日に、静岡市紺屋町地下街休憩スペースに湧出する地下水を活用した熱交換システムモデルを設置しました！
- 熱交換システムは、県地下水熱エネルギー利用普及促進協議会の会員である建設会社の角藤（長野市）、空調メーカーのピーエス暖房機（東京・渋谷）、サンポット（岩手県花巻市）の協力のもと、設置しています。
- システムの周りは、冬は温かく、夏は冷たくなっていますので、この機会にぜひ、体験いただきたいと思います。

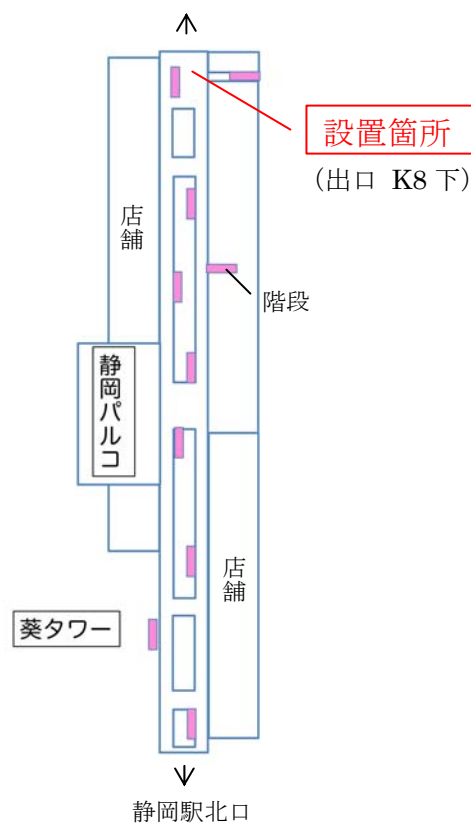
★ 地下水熱交換システムのメリット

- 年間を通じて温度変化が小さい（気温と比べて冬は温かく夏は冷たい）地下水の熱を活用することで、一般的な空調設備と比べ消費電力が半減する。
- 一般的な空調設備と異なり、外気に熱を放出しないため、ヒートアイランド現象の緩和につながる。

【設置場所】

紺屋町地下街

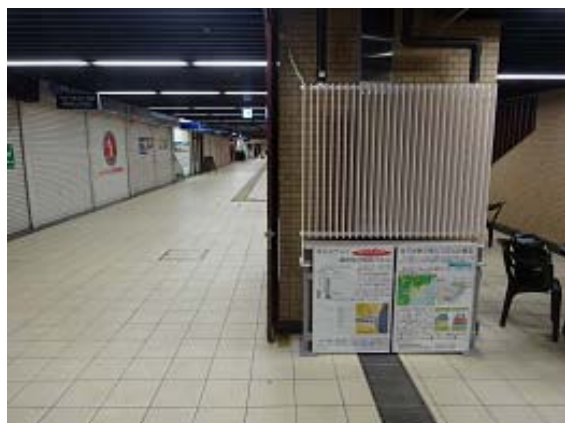
呉服町スクランブル交差点



【地下水熱交換システム】



ヒートポンプ側



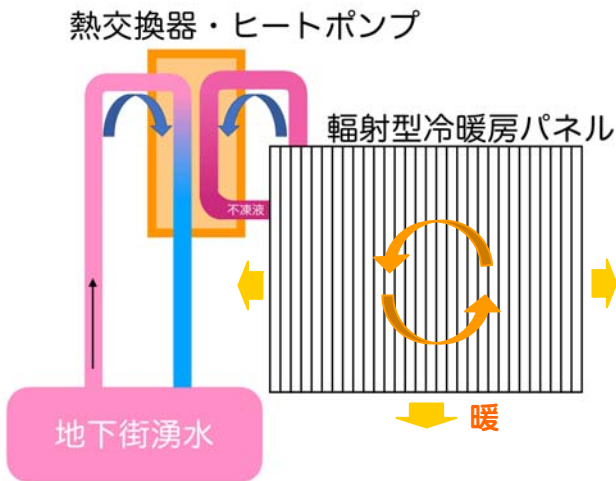
輻射型冷暖房パネル側

【仕組】

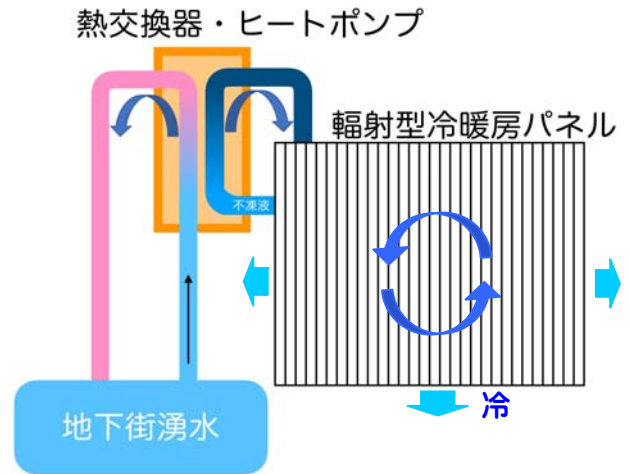
(暖房)

- ① 排水されている地下水湧水をポンプで汲み上げる。
 - ② 汲み上げた水から熱交換器・ヒートポンプで採熱する。
 - ③ 熱により温めた不凍液が輻射パネルの中を循環し、周囲を温める。
- ※ 夏はヒートポンプで冷やした不凍液が輻射パネルを循環し、周囲を冷やす

暖房



冷房



【地球温暖化アプリ「クルポ」】

地下水熱交換システムを設置した場所は、「クルポ」のクールポイントとなっています！

(省エネ体験施設)

「クルポ」は、クールポイントの略で、スマートフォンを使って県民一人ひとりが楽しく温暖化対策に取り組んでいただく COOL チャレンジです (ガラケーでも使えます)。